

『論語』(学而・為政) 確認テスト(漢文) | 定期テスト対策 | 誰でも古典塾 解答・解説

問1

学びて時に之を習ふ、亦説ばしからずや。(「而」は置き字で読まない。「不亦〜乎」は「亦〜ずや」と読む。)

問2 人が(自分を)認めてくれなくても不平不満を抱かない、それこそ君子(立派な人物)ではないか。

問3 吾日に吾が身を三たび省みる。

問4 言葉を巧みに飾り、顔つきをやわらげて人に取り入ろうとするような人物。孔子は、そういう人には本当の思いやり(仁)が少ない、と批判している。

問5 五十にして天命を知る。

問6 (七十歳になって)自分の心の思うままに行動しても、道德の規範(道理)を踏み外すことがなくなった。

問7 不惑(ふわく)。

問8 成語…温故知新(おんこちしん)。意味…昔の事柄や学問をよく学び直して、そこから新しい知識や道理を見いだすこと。

問9 (そうすれば)人の師となることができる。

問10 (1)「罔」…罔(くら)し。「殆」…殆(あや)ふし。(2)書物などから学ぶ(知識を得る)ことと、自分の頭で考えることの両方が大切で、どちらか一方に偏ってはならないという態度。学んでも考えなければ物事の道理が身につかず(罔し)、考えるだけで学ばなければ独断におちいって危うい(殆ふし)からである。

問11 之を知るを之を知ると為し、知らざるを知らずと為す、是れ知るなり。

問12 人として信義(誠実さ・約束を守る心)がなければ、その人がうまくやっていけるかどうか(人として通用するかどうか)わからない。

問13 君子は、人と広く公平に親しんで特定の者とだけ私的に結びつくことはしない。一方、小人は、特定の者と私的に結びつくばかりで、広く公平に親しむことはしない。両者の人づきあいのあり方を対比している。

問14 ア。「説」はここで「よろこぶ」の意で「悦」に通じる。アの「喜」が同じ意味。イ・ウ・エは「説(と・ぜい)」=「とく・述べる」の意で異なる。

問15 友・友人(同じ師のもとで学ぶ仲間、同門の友)。

問16 読み…「慍(うら)みず」。意味…うらむ・腹を立てる・不満に思う。

問17 「〜ではないか」という意味で、強い感動や詠嘆(よろこび・心からの肯定)を表す反語的な詠嘆の句法。

問18 ①人のために何かを考え行動するとき、まごころを尽くしていなかったのではないか。②友人と交わるとき、誠実さ・信義を欠いていなかったのではないか。③（先生から）教わったことを、よく復習していなかったのではないか。――この三つを毎日反省するということ。

問19 イ（まごころ・誠実さ）。「信」は言葉に偽りがなく誠実であることをいう。

問20 知っていることは知っていると認め、知らないことは知らないと正直に認めること。知ったかぶりをせず、自分の知識の限界を自覚することこそが、本当に「知る」ということだと孔子は教えている。

問21 (1) 孔子（とその弟子たち）。(2) 儒教（儒学）。

問22（解答例）孔子は、学ぶことを人生の根本に置き、それを喜びとしてとらえていた。①「学びて時に之を習ふ、亦説ばしからずや」では学んで復習することの喜びを説き、⑦「学びて思はざれば則ち罔し、思ひて学ばざれば則ち殆ふし」では、ただ知識を得るだけでなく自分で考えることと合わせてこそ学問が身につくと説いている。さらに⑥「故きを温めて新しきを知る」のように、過去の学びを土台に新しい道理を見いだす姿勢を重んじた。このように孔子は、学びを生涯続ける喜ばしい営みとしてとらえ、知識と思考の両立を大切にしていたといえる。